

I-2 子どもだった頃の私

【プログラムのねらい】

- ・保護者自身が育ってくる中で出会った大人にしてもらって“うれしかったこと”や“嫌だったこと”など、子どもだった頃の気持ちを振り返り、感情を受容するかかわりの大切さに気付く。
- ・乳幼児期は感情が育つ時期なので、子どもの心に残る感情体験をつくる子育ての大切さに気付く。

【プログラムの展開例】

時 間	進 め 方	準 備
10分	▶ アイスブレイキング ・仲間づくりの遊びを行い、参加者のリラックスした雰囲気づくりをする。 ・他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。	P2「アイスブレイキング 各種」参照
10分	▶ Work ・自分が好きだった人、うれしかったこと、嫌だったことなど、印象に残っているエピソードや、その時の自分の気持ちをワークシートに記入することで、心に残る感情について意識化を図る。	ワークシート
30分	▶ グループワーク ・幼い頃の自分の気持ちを振り返り、気付いたことについて、グループ内で自由に意見交換をする。 ・司会進行・書記・発表者は、各グループのメンバー間で決め、主体的な活動になるよう、指導者役は側面から見守る。 ▶ 発表とまとめ ・各グループの発表者は、話し合った内容を発表し、メンバー全員で共有できるようにする ▶ アドバイス ・資料をもとに、子どもの感情に目を向け、親と子の応答的な気持ちのやりとりや、驚きや感動を体験し豊かな感性を育む体験の機会をつくる子育ての大切さについてアドバイスをする。	5～6名程度のグループづくり 資 料
10分	▶ 振り返りシート ・メンバー一人一人が、このプログラムで得た気づきを生かし、豊かな感性を育む子育てを奨励する。	振り返りシート